

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2000年 3月14日

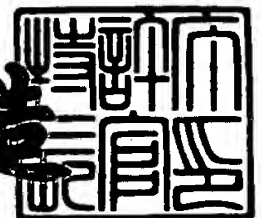
出 願 番 号  
Application Number: 特願2000-070597

出 願 人  
Applicant (s): 富士写真フイルム株式会社

2000年12月22日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3106306

【書類名】 特許願

【整理番号】 P-33622

【提出日】 平成12年 3月14日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B41M 5/025

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

    【氏名】 沢野 充

【特許出願人】

    【識別番号】 000005201

    【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100105647

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 小栗 昌平

    【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

    【識別番号】 100105474

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 本多 弘徳

    【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

    【識別番号】 100108589

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 市川 利光

    【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

    【識別番号】 100115107

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 猛

【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

【識別番号】 100090343

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗宇 百合子

【電話番号】 03-5561-3990

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 092740

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像転写機用挿入台と画像転写機

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像が形成された受像シートと転写されるべき本紙とを重ね合わせて画像転写機内の加熱・加圧するヒートローラ対へ送り込むための挿入台において、

前記挿入台が下方からの光を透過する機能を備える部材で一部または全部を構成されたことを特徴とする画像転写機用挿入台。

【請求項 2】 前記光透過機能部材は透明部・半透明部・光拡散部・開口部のいずれかであることを特徴とする請求項 1 記載の画像転写機用挿入台。

【請求項 3】 下方に光源を有することを特徴とする請求項 2 記載の画像転写機用挿入台。

【請求項 4】 前記光透過機能部材および／又はその周辺に蓄光蛍光体が塗布されたことを特徴とする請求項 2 記載の画像転写機用挿入台。

【請求項 5】 外光採光穴を下方に備えたことを特徴とする請求項 2 記載の画像転写機用挿入台。

【請求項 6】 重ね合わせた状態の両シートの先頭がニップされるまで操作者が持ち続けることができる長さの切り欠きを前記挿入台が備えたことを特徴とする請求項 1～5 のいずれか 1 項記載の画像転写機用挿入台。

【請求項 7】 請求項 1～6 のいずれか 1 項記載の画像転写機用挿入台と、該挿入台から到来する重ねシートを加熱・加圧するヒートローラ対とを備えたことを特徴とする画像転写機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、サーマル熱転写プリンターやレーザー熱転写プリンター（その他インクジェットプリンター等本紙転写用紙にプリントできるプリンターであれば何でも良い。）により画像が形成された受像シートと転写されるべき本紙とを重ね合わせた重ねシートをヒートローラ対の間に通して受像シートに形成した画像を

本紙へ転写する画像転写機に関するものである。

#### 【 0 0 0 2 】

##### 【従来の技術】

カラー原稿から印刷版を作成し、多数枚の印刷を行う場合、校正刷りを行って仕上がりを確認した上で本刷りを行う。この際、校正刷り工程ではカラープルーフを作成して確認が行われる。このようなカラープルーフ等は、サーマルプリンタ等により画像を受像シートに形成した後、受像シートに形成された画像を画像転写機により本紙に転写することにより得られる。

#### 【 0 0 0 3 】

図 8 は、従来の一般的な画像転写機を示している。

同図において、1 が画像転写機で、この画像転写機 1 にはヒートローラ 4 1、4 2 が下と上にそれぞれ 1 個対向して設けられ、その下流にニップローラ 5 1、5 2 が上下に対向して設けられている。ヒートローラ 4 1、4 2 の周囲をヒートカバー 4 が覆ってヒートローラ 4 1、4 2 の熱放散を防止しており、さらにその外側をニップローラ 5 1、5 2 を含めて保護用の転写カバー 5 が覆っている。また、画像転写機 1 の入口側には挿入台 2 が設けてあり、一方、排出側には排出台 3 が設けてある。

ヒートローラ 4 1、4 2 は例えばアルミ材等からなり、その外周面はゴム等による被覆層で被覆され、またヒートローラ 4 1、4 2 の中心にはヒータが内設されている。上下に対向して設けられているヒートローラ 4 1、4 2 のうち、1 個（たとえば下ローラ）は駆動用で、他方のローラ（上ローラ）は従動となっている。その上下のヒートローラ 4 1、4 2 間を本紙と受像シートとの重ねシートが加熱押圧されながら通紙され、本紙の上に受像シート上の画像が転写され、その後、手で本紙から受像シート支持体等を剥がして本紙に画像を得ていた。

#### 【 0 0 0 4 】

図 9 は、図 8 のヒートローラ対 4 1、4 2 の形状等を詳しく説明する図で、ヒートローラ 4 1 はロール長 4 0 0 mm のストレートタイプ（すなわち、ヒートローラの両端の直径  $\phi 1 L$ 、 $\phi 1 R$  と中央部の直径  $\phi 1 C$  がすべて等しい（例えば、3 5 . 8 mm）円柱状タイプ）の駆動であり、ヒートローラ 4 2 はロール長 4

0 0 m m のクラウンタイプ〔すなわち、ヒートローラの両端の直径  $\phi 2 L$  ,  $\phi 2 R$  (例えば、3 5 . 8 m m ) よりも中央部の直径  $\phi 2 C$  が若干大きい (例えば、3 6 . 1 m m ) 樽状タイプ〕の従動であり、各ヒートローラ 4 1、4 2 とともに硬度 6 0 度 ( J I S 硬度 A ) のシリコンゴム製で被覆されている。

また、上側のヒートローラ 4 2 の両端には、押し付け力 P として片側あたり  $2 0 0 \pm 4 0 N$  の力が加えられている。

各ヒートローラ対 4 1、4 2 が両端の 2 か所でのみ支持されているため中央部が若干撓んでも、以上のようなストレート→クラウンの組み合わせ構成により、ヒートローラ対 4 1、4 2 のどの部分も均一な押圧力がえられるようになる。

#### 【 0 0 0 5 】

従来は、このような画像転写機 1 を次の 2 通りの方法で用いることによって画像転写していた。

1) その 1 つは、図 1 0 のように、本紙 P の上に受像シート R を重ね、その重ね合わせたシートをそのままヒートローラ 4 1、4 2 対の間に通して受像シート R の画像を本紙 P へ転写させる方法であった。

すなわち、図 1 0 において、本紙 P とこの本紙 P の上に重ねた受像シート R との重ねシートが上下のヒートローラ 4 1、4 2 間に通されると、重ねシートは加熱押圧されながら通紙され、本紙 P の上に受像シート R の画像が転写され、ニップローラ 5 1、5 2 で搬送され、排出台 3 より排出されることとなる。

ところが、この場合、通紙すると受像シートや本紙が湾曲し、凸凹状のしわ (以後、「ベコ」という。) ができてしまった。その原因は、本紙 P と受像シート R との材料の違いからくる伸び縮みの差や熱膨張率、吸湿率等の差等に起因しているものと考えられる。

#### 【 0 0 0 6 】

2) このような問題を解消するため、もう 1 つの手法として画像転写機キャリアを用いる方法を本出願人は開発した。図 1 1 はこの画像転写機キャリアを用いる転写方法を示している。

同図において、9 が画像転写機キャリアで、これは 0 . 3 m m 厚のアルミニウム等で作されたキャリア基板 9 1 と、このキャリア基板 9 1 を進行方向の先端付

近だけ覆う 0.2 mm 厚のポリイミド等で作成されたカバーシート 9 2 と、このカバーシート 9 2 をキャリア基板 9 1 へ固定するための耐熱テープ 9 3 とから構成されている。

そこでこの画像転写機キャリア 9 を用いる際、まずカバーシート 9 2 を開いて、このカバーシート 9 2 とキャリア基板 9 1 との間に、重ね合わされた本紙 P 1 と受像シート R とを挿入し、カバーシート 9 2 を元に戻して受像シートと本紙とを表裏面から挟持して耐熱テープ 9 3 側を先頭にして、ヒートローラ 4 1、4 2 対の間に通紙を行うものである。

このように画像転写機キャリアを用いると本紙 P と受像シート R とはキャリア基板 9 1 とカバーシート 9 2 の間に挟まれ、画像転写機キャリア 9 に保持された状態でヒートローラ 4 1、4 2 に通紙されることでベコが無くなった。

#### 【 0 0 0 7 】

しかしながら、このように画像転写機キャリア 9 を用いるとベコは無くなるものの、熱がアルミ板に吸収されるため熱の伝達が悪くなり、したがって通紙速度を従来の 1 / 1 0 程度に低下させる必要があったり、または、ヒートローラの温度を本来の温度に比べて高く設定する必要があり電力使用量が大きくなり、断熱構造がおおげさになる等、使用する部材耐熱温度を上げる必要があった。

また、画像転写機キャリア 9 は通常、アルミ製であるため、搬送経路を曲げることでできず、装置全体の小型化に障害となっていた。

#### 【 0 0 0 8 】

そこで本出願人は、さらに、画像転写機キャリアを用いずに、ベコの発生しない、しかも通常の通紙速度で通常の電力使用量で済む画像転写方法とその画像転写機を先に発明し、特願平 1 1 - 2 3 0 7 5 4 号として出願した。

それによれば、画像が形成された受像シートと転写されるべき本紙とを重ね合わせて挿入台からヒートローラ対間に通して前記受像シートに形成した画像を前記本紙へ転写する画像転写機において、挿入台の上へまず受像シートを置き、その上に本紙を重ねた状態で前記ヒートローラ対間へ挿入するものである。

#### 【 0 0 0 9 】

以下、先行発明に係る画像転写方法について、図 1 2 および図 1 3 を用いて簡



単に説明する。図 1 2 は先行発明による画像転写機の一部断面斜視図であり、図 1 3 は図 1 2 の画像転写機を用いた画像転写を説明する図である。

図 1 2 において、1 が画像転写機で、これはヒートローラ対 4 1、4 2 と、これを覆うヒートカバー 4 と、ニップローラ対 5 1、5 2 と、前記ヒートカバー 4 及び前記ニップローラ対 5 1、5 2 とを覆う保護カバー 5 と、挿入台 2 と、排出台 3 と、から構成されている。また、ヒートローラ対 4 1、4 2 の上流でヒートカバー 4 の外側に、別のニップローラ対を設けて、これによって受像シートと本紙との重ねシートを確実にニップさせるようにすることも可能である。また、ニップローラ対 5 1、5 2 を省略することも可能である。

#### 【 0 0 1 0 】

図 1 3 において、画像転写機 1 の挿入台 2 の上にある R が画像が形成された受像シートであり、その上に重ねられている P が転写されるべき本紙である。すなわち、先行発明に係る画像転写方法によれば、図に示すように、本紙と受像シートの上下関係は、従来と逆関係になっている。従来の画像転写方法（図 1 0）では、転写されるべき本紙 P の上に画像が形成された受像シート R を重ねたが、ここではその逆で、受像シート R の上に本紙 P が重ねられているのが特徴である。このように、挿入台 2 の上へまず受像シート R を置き、その上に本紙 P を重ねた状態で画像転写機へ挿入すると、湿気を含みやすい本紙を上に行っているため、ヒートローラ 4 1、4 2 で加熱されても本紙に含まれる水分は水蒸気となって上部に逃げてしまい、シワ・ベコ等が発生しなくなるのである。

#### 【 0 0 1 1 】

この場合、受像シート R および本紙 P の位置関係は、図 1 3 に示すように、本紙 P の方が受像シート R よりも L 1（ $L 1 = 2 1 \text{ mm}$ ）以上先に挿入されるのがよい。こうすることにより、先に本紙 P のみが通紙され、続いて受像シート R との重ね部分が通紙されることになり、紙送り失敗（通常、「ジャム」と言う。）が少なくなった。

#### 【 0 0 1 2 】

##### 【発明が解決しようとする課題】

この先行発明によれば、挿入時の本紙 P と受像シート R とを重ねる際、マーク

を利用することによって両シートの位置合わせがやや改善されたものの、正確な位置合わせは本紙Pを透かして下の受像シートのエッジに合わせるようにするものであり、時間がかかりしかも技術を要するのでまだ不便なところがあった。

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、請求項1記載の発明によれば、画像が形成された受像シートと転写されるべき本紙とを重ね合わせて画像転写機内の加熱・加圧するヒートローラ対へ送り込むための挿入台において、この挿入台が下方からの光を透過する機能を備える部材で一部または全部を構成されたことを特徴としている。

また、請求項2記載の発明によれば、前記光透過機能部材は透明部・半透明部・光拡散部・開口部のいずれかであることを特徴としている。

また、請求項3記載の発明によれば、前記画像転写機用挿入台は下方に光源を有することを特徴としている。

また、請求項4の発明によれば、前記光透過機能部材および／又はその周辺に蓄光蛍光体が塗布されたことを特徴としている。

また、請求項5記載の発明によれば、外光採光穴を下方に備えたことを特徴としている。

以上のような構成により、挿入時の本紙Pと受像シートRとを重ねる際、このような挿入台を利用することによって下方からの光で両シートが透けて見えるので、両シートのトンボ（+）印同士の重ね合わせを正確に行うことができるようになるり、したがって習熟工でなくても時間をかけずに正確に位置合わせをすることが可能となる。

また、請求項6記載の発明によれば、重ね合わせた状態の両シートの先頭がニップされるまで操作者が持ち続けることができる長さの切り欠きを前記挿入台が備えたことを特徴としている。

以上のような構成により、正確に位置合わせされた本紙Pと受像シートRの重ねシートを持ったまま挿入台から機内へ確実に挿入することができる。

また、請求項7記載の発明によれば、請求項1～5のいずれか1項記載の画像転写機用挿入台と、該挿入台から到来する重ねシートを加熱・加圧するヒートロ

ーラ対とを備えたことを特徴としている。

以上のような構成により、画像転写機が上のような構成の挿入台を備えるので、画像転写機が正確に位置合わせされた本紙Pと受像シートRを転写できるようになり、画像のズレの無い、ベコの無い綺麗な画像を転写することができる。

#### 【発明の実施の形態】

以下に、本発明の実施の形態について図を用いて説明する。

図1は本発明による画像転写機の一部断面斜視図であり、図2は図1の画像転写機を用いた画像転写を説明する一部断面側面図である。

図1において、1が画像転写機で、これは本発明に係る挿入台2'を除いて図12で説明した画像転写機と比べて同じ構成となっている。すなわち、ヒートローラ対41、42と、これを覆うヒートカバー4と、ニップローラ対51、52と、前記ヒートカバー4及び前記ニップローラ対51、52とを覆う保護カバー5と、挿入台2'と、排出台3と、から構成されている。

挿入台2'はその一部または全部が、下方からの光を透過する機能を備える部材でできている。すなわち、光透過機能部材としては、透明ガラスや擦りガラス、およびこれと同様のプラスチック材料などの透明・半透明・光拡散の機能を有するものが挙げられる。また、記録媒体が剛性のあるものであれば、単に開口を有するものであってもよい。そして、挿入台2'の下には図4で詳述する箱体6が取り付けられており、箱体6内の蛍光灯を点灯させると挿入台2'が下方から照らされるようになる。

#### 【0013】

図2において、画像転写機1の挿入台2'の上にあるRが画像が形成された受像シートであり、その上に重ねられているPが転写されるべき本紙である。この場合、受像シートRの上に受像シートRよりもサイズの大きい本紙Pが重なっているため、先行発明が苦心したように正確な位置合わせが難しかったが、本発明によれば、挿入台2'を下方から照らしてこの挿入台2'の上へ受像シートRを置き、次に本紙Pをこれに重ねるので、下方からの光で受像シートRが照らされて受像シートRのトンボ印が本紙Pの上から視認できるため、本紙Pの隅に設け

られたトンボ印とを簡単に正確に合わせることができるようになる。

#### 【 0 0 1 4 】

この場合、受像シート R および本紙 P の位置関係は、図 2 に示すように、本紙 P の方が受像シート R よりも  $L_1$  ( $L_1 = 21\text{ mm}$ ) 以上先に挿入されるようになる。こうすることにより、先に本紙 P のみが通紙され、続いて受像シート R との重ね部分が通紙されることになり、ジャムが少なくなる。このようにするために、図 3 に示すように、挿入台 2 の上に受像シート R および本紙 P の位置関係に対応した個所にマークを設けておくといよい。図 3 は図 2 の挿入台 2' の斜視図である。マーク 221 は受像シート R 用で、受像シート R の大きさに対応してそれぞれ A3、B4、A4、B5 と記しておく。このマーク 221 の前方  $L_1$  (約  $21\text{ mm}$ ) の距離のところに本紙 P 用のマーク 222 がある。これらのマークを用いて大まかな位置合わせをし、次いで光透過機能部 2G を使ってトンボ印同士を合わせれば正確な位置合わせが早くかつ容易にできるようになる。

#### 【 0 0 1 5 】

図 4 は、図 3 の挿入台の平面図 (a) と正面図 (b) とを示している。2' が挿入台で、2G がガラスの部分で、5 は転写カバーである。挿入台 2' のガラス部分 2G の下には内部に蛍光灯 2L とこの蛍光灯 2L の光を上方へ反射させる反射板 2R とを内蔵した箱体 6 が取り付けられている。

このような構成によって、蛍光灯 2L を点灯させるとガラス部分 2G が下方から照らされるようになる。したがって、この下方からの光で受像シート R が照らされて受像シート R のトンボ印が本紙 P の上から視認できるので、本紙 P の隅に設けられたトンボ印とを簡単に正確に合わせることができるようになる。

ここでは光源として蛍光灯 2L を用いているが、本発明はもちろん蛍光灯に限定されるものではなく、他の光源である発光ダイオード、EL、白熱ランプでもよい。

#### 【 0 0 1 6 】

このように、正確に重ねた状態の両方の用紙の先頭がニップされるまで持ち続けることができるように、切り欠き 21 を挿入台 2 に設けている。したがって、切り欠き 21 の長さは、使用する受像シートのうち最小サイズの受像シートがヒ

ートローラ 4 1、4 2 にニップされるまでの長さにしておくといよい。

なお、図 3 の符号 8 は、厚み 1. 5 mm 程度の通紙禁止板である。この通紙禁止板 8 によって、重ねシートがヒートローラ 4 1、4 2 の範囲外へ通紙されるのが禁止される。

#### 【 0 0 1 7 】

図 5 は、このようなマーク 2 2 1、2 2 2 と切り欠き 2 1 を用いて重ねシートの挿入を行なう手順を示している。

① まず、受像シート R を挿入台 2 の上に記録面を上側にして挿入台 2 のマーク 2 2 1 に合わせて置く（図 5（a））。

② 次に、受像シート R の上にマーク 2 2 2 に合わせて本紙 P を置き、その後両シートのトンボ合わせをする（図 5）。

③ 両シートのトンボ合わせができたなら受像シート R と本紙 P の搬送方向後端部を切り欠き 2 1 で重ねて持って、画像転写機へ押し込む（図 5（c））。

④ 手でつかんだまま切り欠き 2 1 に沿って、さらに押し込む。

⑤ 両方の用紙の先頭が画像転写機カバー 5 内のヒートローラ 4 1、4 2 にニップされたら手を放す。

以上のようにすることにより、重ねシートを持ち上げないで水平に挿入できるので、シワが入りにくい。また、挿入台の切れ込みの終了とともにニップされるようになっているので、手を離せば良い。

この後、重ねシートが排出台 3 の上へ搬送されたら、重ねシートの両紙を手で剥がして、本紙を取り外せばできあがりである。

#### 【 0 0 1 8 】

図 6 は、本発明の第 2 の実施の形態を示すもので、図 4 の蛍光灯 2 L と反射板 2 R とを内蔵した箱体 6 の代わりに、挿入台 2' の上の一部または全面に蓄光蛍光体 2 F を塗布したものである。蓄光蛍光体は僅かな光によっても励起されて明るくなり、この状態を長時間持続するものである。このような蓄光蛍光体 2 F を用いることによって、蓄光蛍光体 2 F は僅かな外光によって励起されて明るくなり、挿入台 2' が照らされるようになる。したがって、このような状態で受像シート R を挿入台の上に置くと、受像シート R が下方から照らされて受像シート R

のトンボ印が本紙 P の上から視認できるので、本紙 P をこの上に置いたとき本紙 P の隅に設けられたトンボ印とを簡単に正確に合わせることができるようになる。

図 7 は、本発明の第 3 の実施の形態を示すもので、図 4 の蛍光灯 2 L と反射板 2 R の代わりに、透明ガラスや擦りガラスのような透過性の部材 2 D を挿入台 2' の一部または全面に取り付け、光源としては明るい外光を利用するものである。そのために、挿入台 2' の下部に外光採光穴 2 H を設け、この外光採光穴 2 H を介して明るい外光 L が挿入台 2' の内部に採り入れるようにしている。

このような構成によって、外光 L がガラス部材 2 D の下方から入るとガラス部材 2 D が照らされるようになり、したがってこの明るさで受像シート R が照らされて受像シート R のトンボ印が本紙 P の上から視認できるので、本紙 P の隅に設けられたトンボ印とを簡単に正確に合わせることができるようになる。

以上のような挿入台を画像転写機の挿入台として設置すれば、受像シート R と本紙 P との位置合わせが簡単にかつ正確にできるようになるので、画像転写機としても使い易い便利なものとなる。

【 0 0 1 9 】

#### 【発明の効果】

このように、本発明の挿入台を用いれば、小さい受像シートとこの上に置かれるこれに対して大きな本紙との位置合わせが簡単にかつ正確にできるようになるので、画像ズレのない、凸凹状のしわの発生しない画像転写を速く簡単に行うことが可能となる。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図 1】

本発明による画像転写機の一部断面斜視図である。

##### 【図 2】

図 1 の画像転写機を用いた画像転写を説明する一部断面側面図である。

##### 【図 3】

図 2 の挿入台 2' の斜視図である。

##### 【図 4】

図 3 の挿入台の平面図 ( a ) と正面図 ( b ) とを示している。

【図 5】

図 3 のマークと切り欠きを用いて重ねシートの挿入を行なう手順を示している。

【図 6】

本発明の第 2 の実施の形態を示すものである。

【図 7】

本発明の第 3 の実施の形態を示すものである。

【図 8】

従来の画像転写機の一部断面斜視図である。

【図 9】

ヒートローラ対 4 1、4 2 の形状等を説明する図ある。

【図 1 0】

図 8 の画像転写機を用いた画像転写を説明する図である。

【図 1 1】

図 8 の画像転写機を用いた別の画像転写を説明する図である。

【図 1 2】

先行発明による画像転写機の一部断面斜視図である。

【図 1 3】

図 1 2 の画像転写機を用いた画像転写を説明する図である。

【符号の説明】

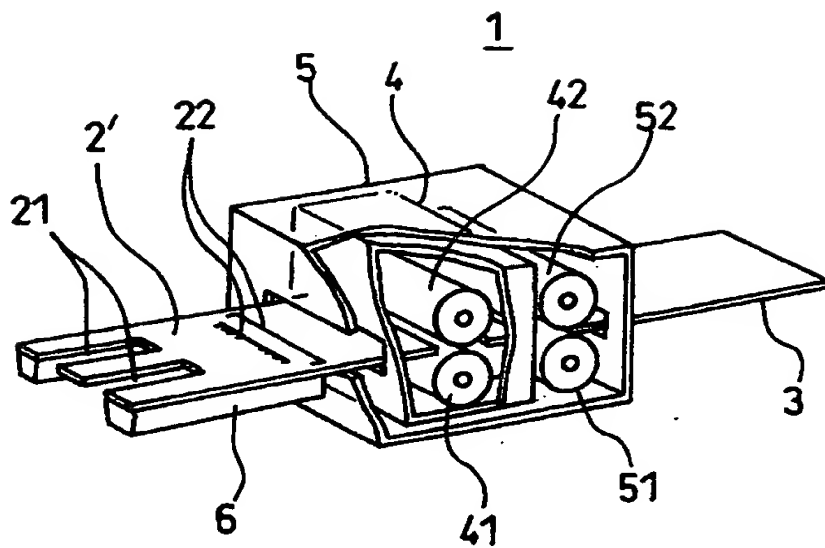
- 1 画像転写機
- 2、2' 挿入台
- 3 排出台
- 4 ヒートカバー
  - 4 1、4 2 ヒートローラ対
- 5 画像転写機カバー
  - 5 1、5 2 第 1 ニップローラ対
  - 5 3、5 4 第 2 ニップローラ対

- 6 箱体
- 8 通紙禁止板
- 9 画像転写機キャリア
  - 9 1 キャリア基板
  - 9 2 カバーシート
  - 9 3 耐熱テープ
- P 本紙
- R 受像シート
- 2 D 光透過性部材
- 2 F 蓄光蛍光体
- 2 G ガラス部分
- 2 H 外光採光穴
- 2 L 蛍光灯
- 2 R 反射板
- L 外光

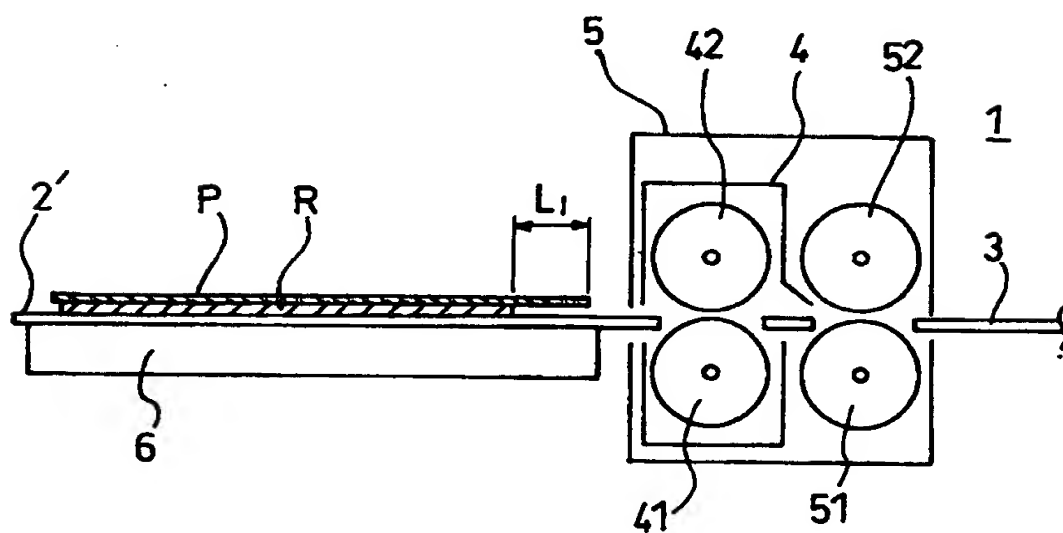


【書類名】 図面

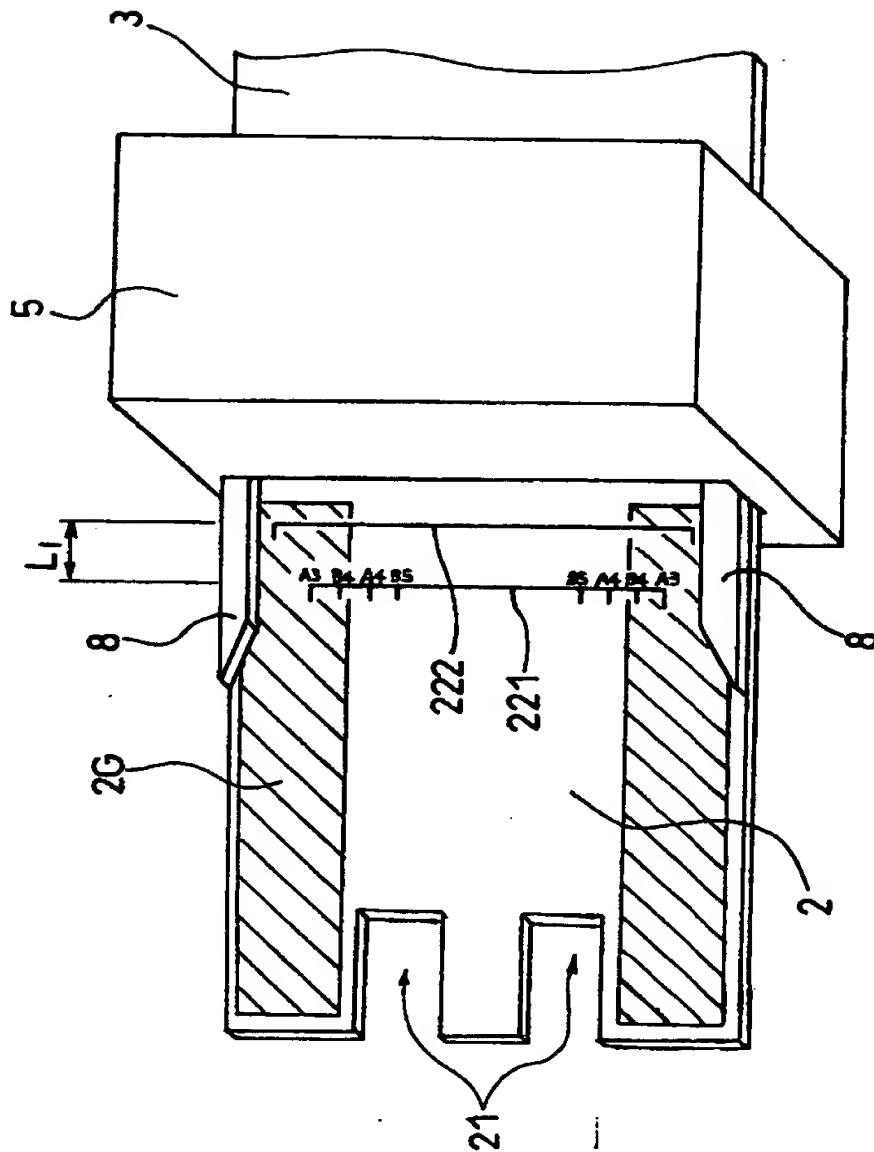
【図 1】



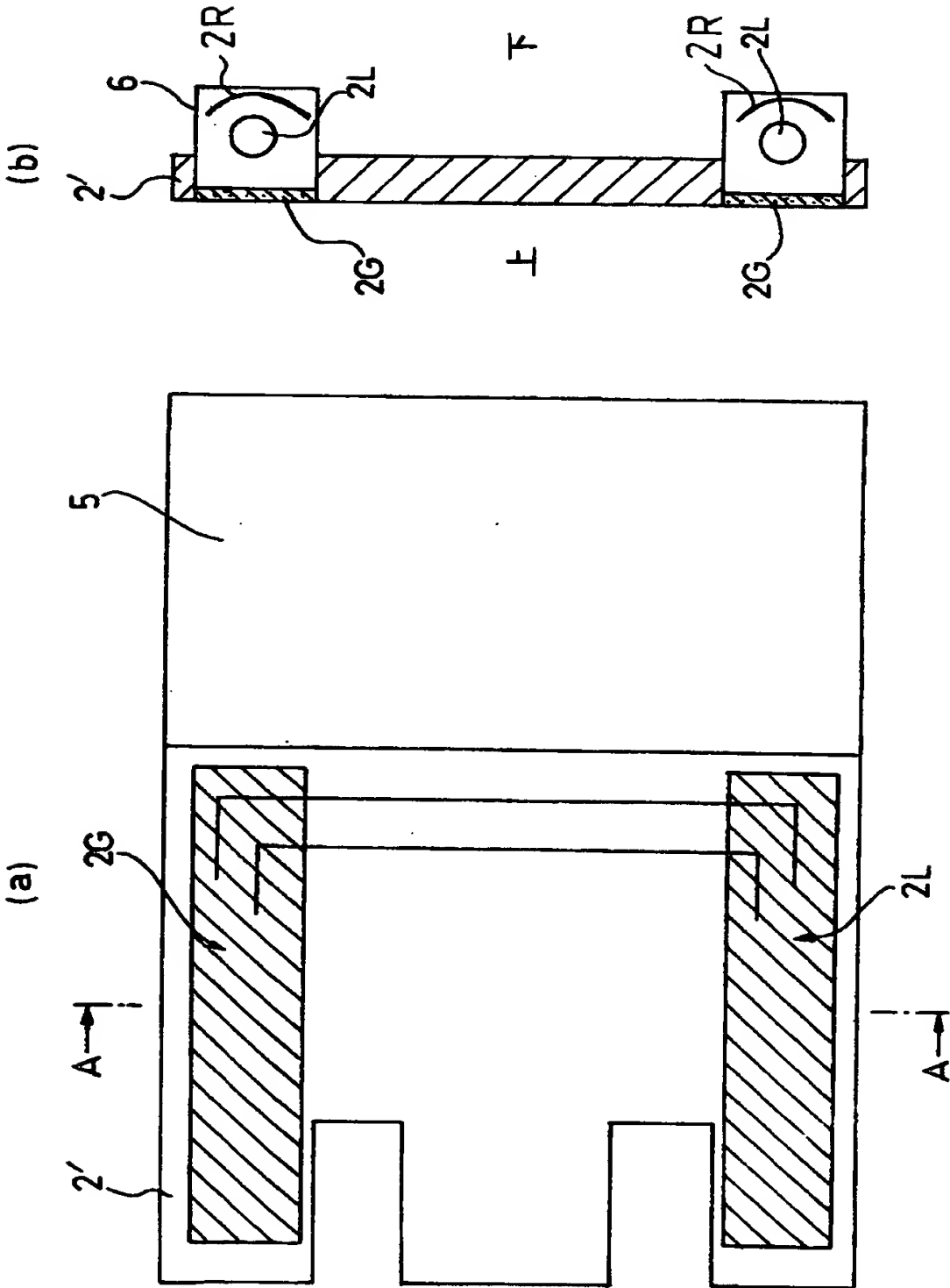
【図 2】



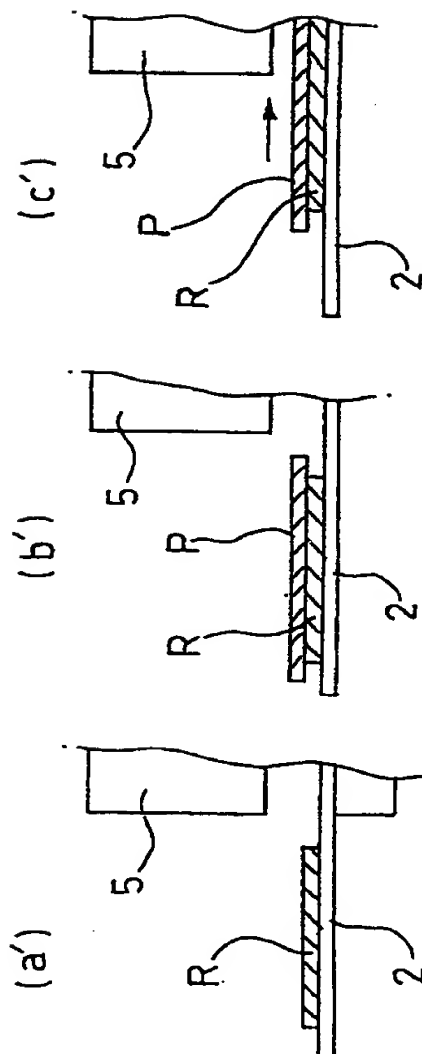
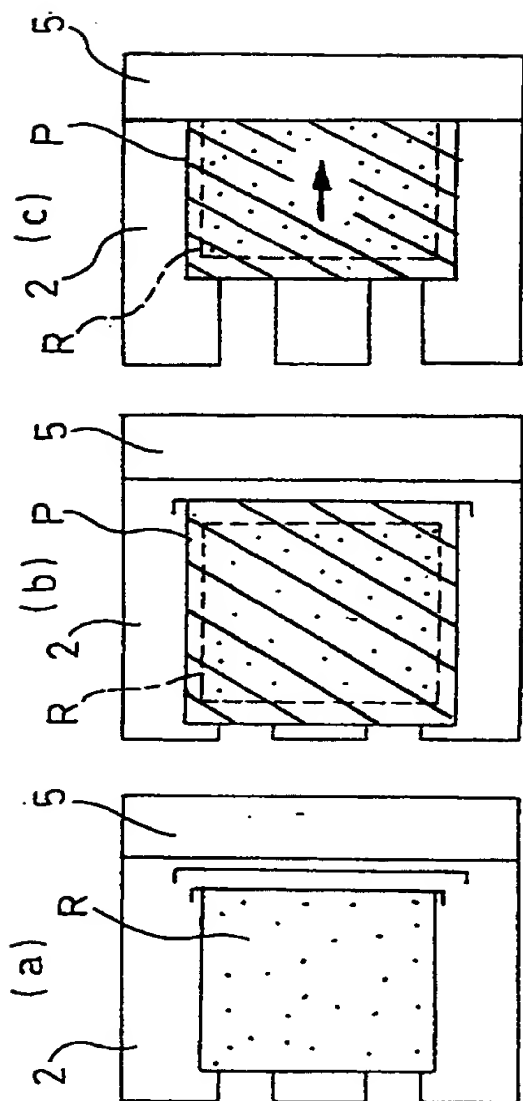
【図 3】



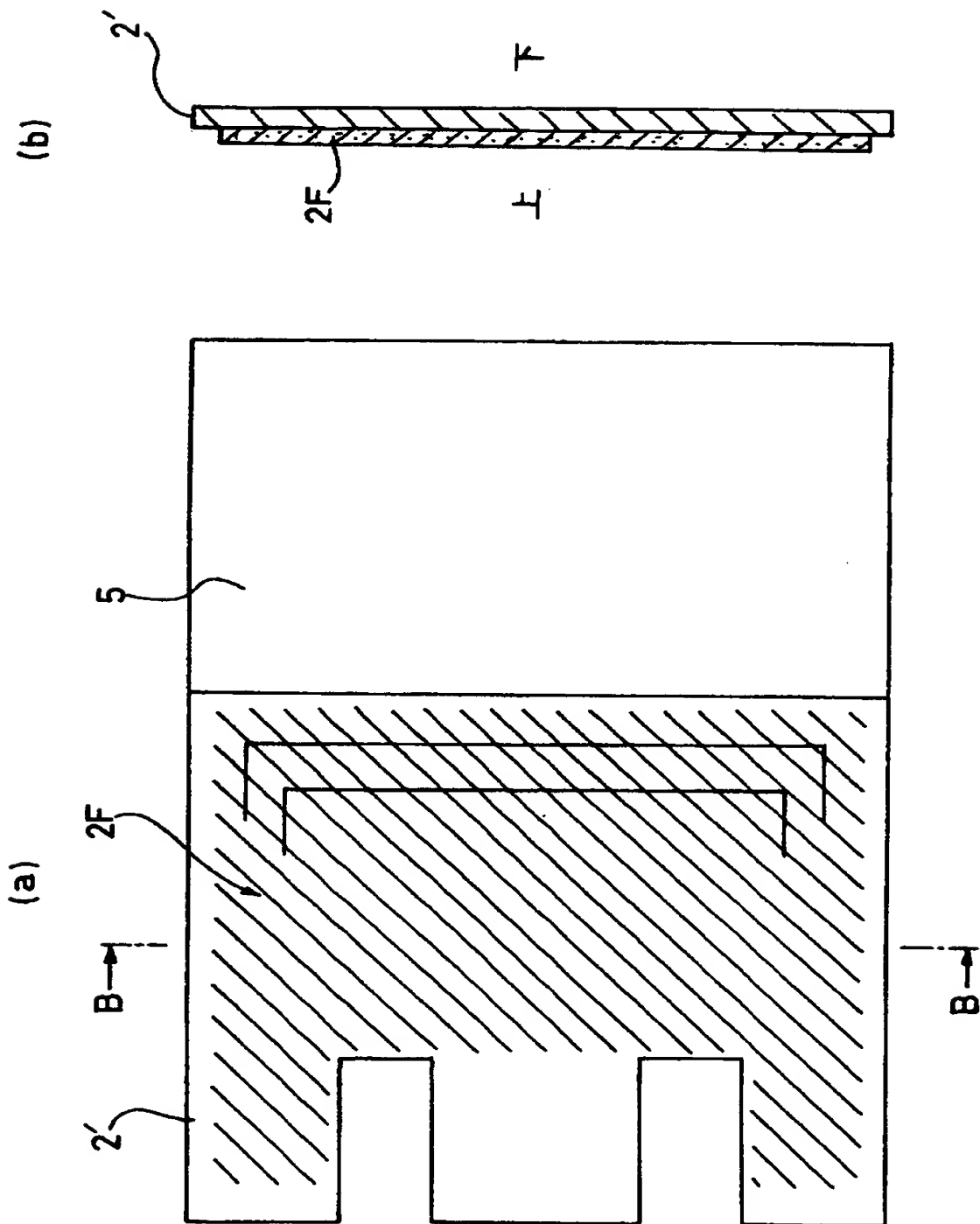
【図 4】



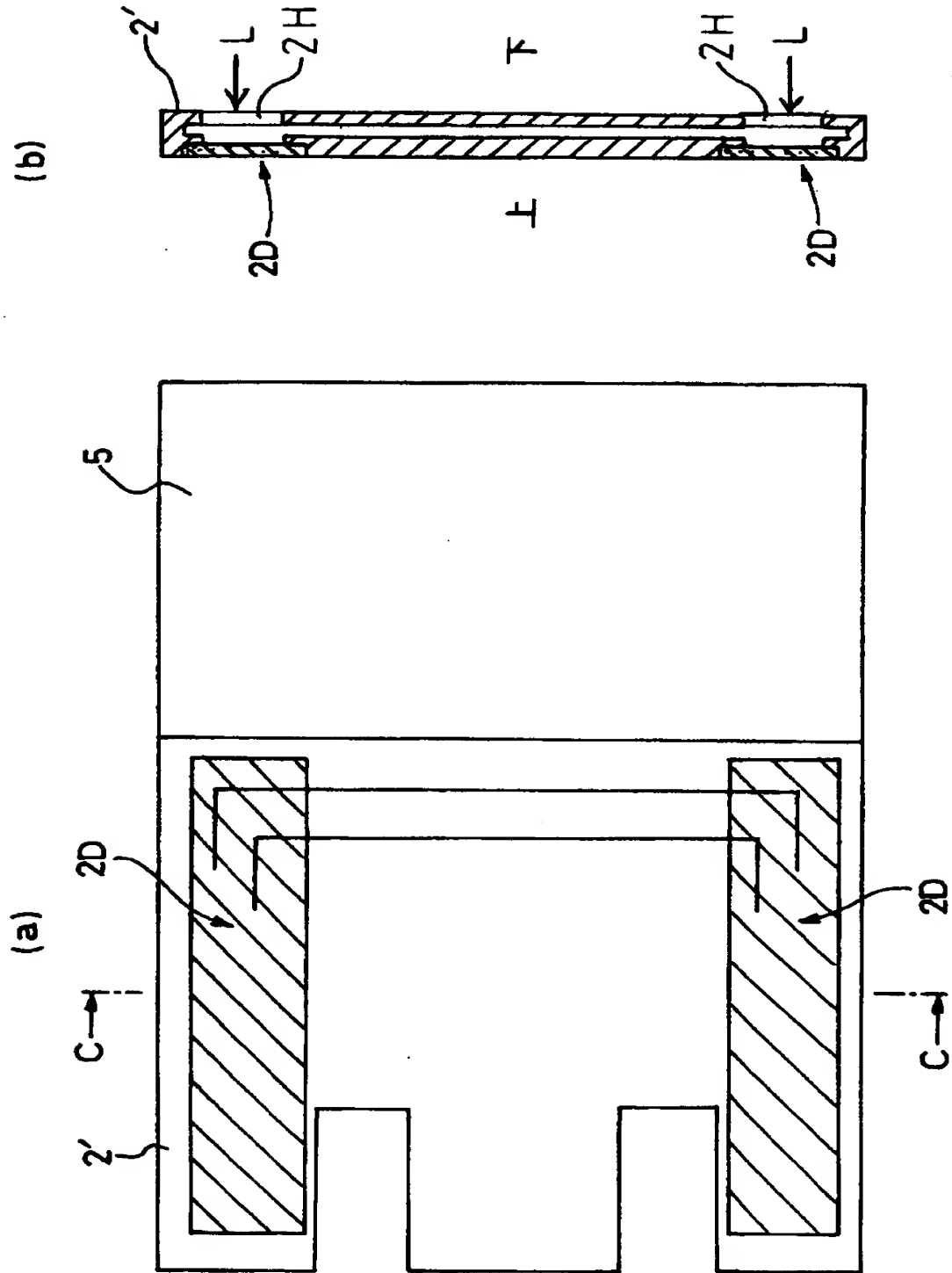
【図 5】



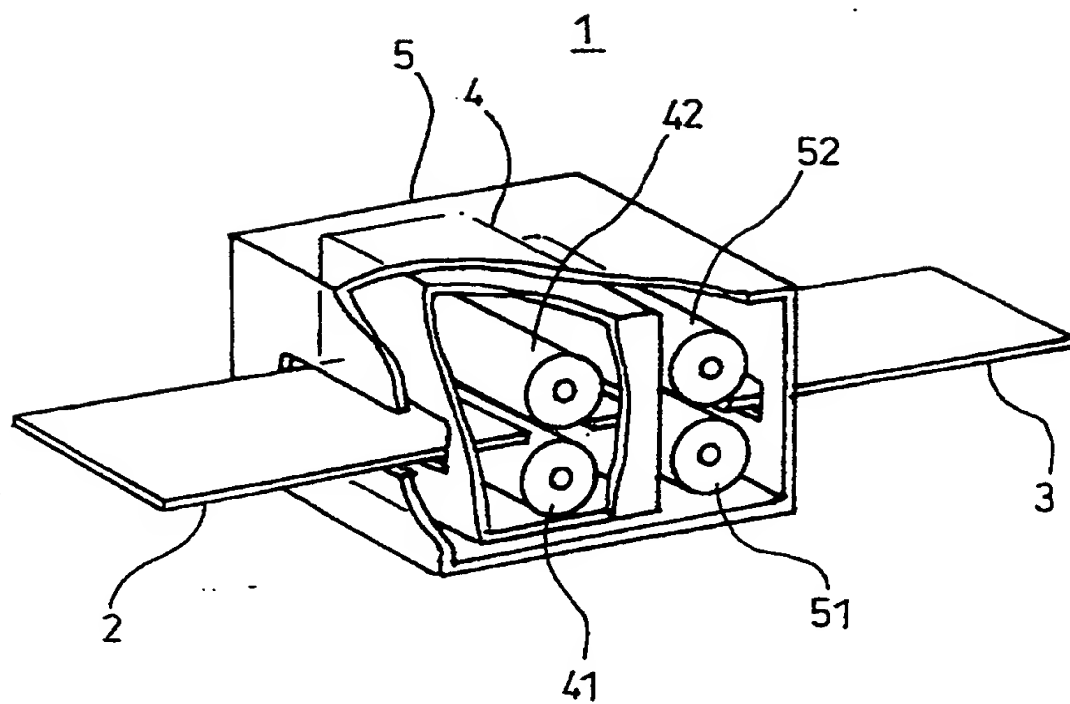
【図 6】



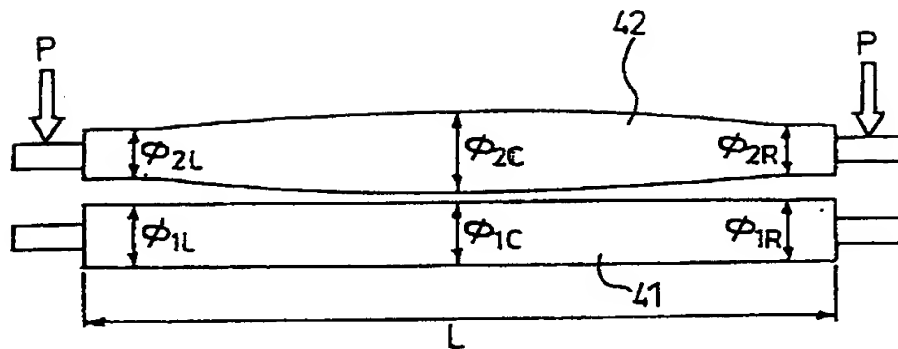
【図 7】



【図8】



【図9】



41 ヒートロール（ストレートタイプ）硬度60度のシリコンゴム被覆（駆動）

42 ヒートロール（クラウンタイプ） 硬度60度のシリコンゴム被覆（従動）

P（押し付け力）= 200N ± 40N

L（ロール長）= 400mm

$\phi_{1L}$ （ストレートタイプの左側端部直径）= 35.8mm

$\phi_{1C}$ （ストレートタイプの中央部直径）= 35.8mm

$\phi_{1R}$ （ストレートタイプの右側端部直径）= 35.8mm

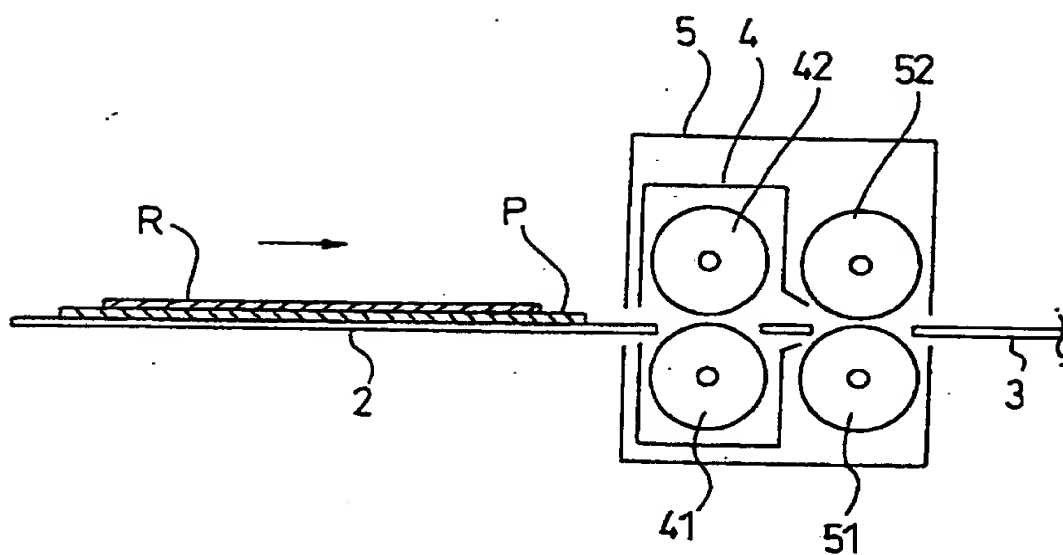
$\phi_{2L}$ （クラウンタイプの左側端部直径）= 35.8mm

$\phi_{2C}$ （クラウンタイプの中央部直径）= 36.1mm

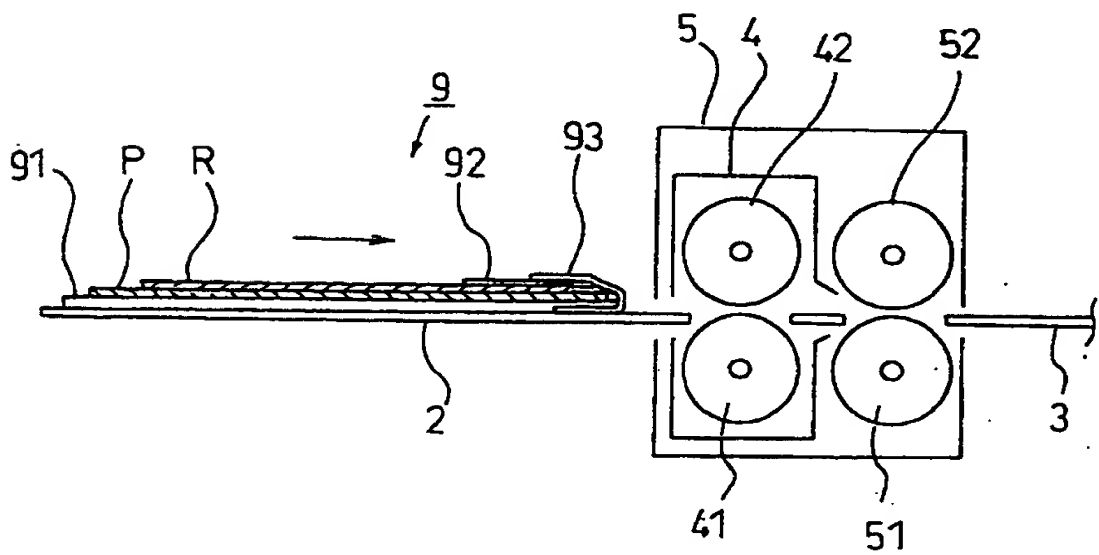
$\phi_{2R}$ （クラウンタイプの右側端部直径）= 35.8mm



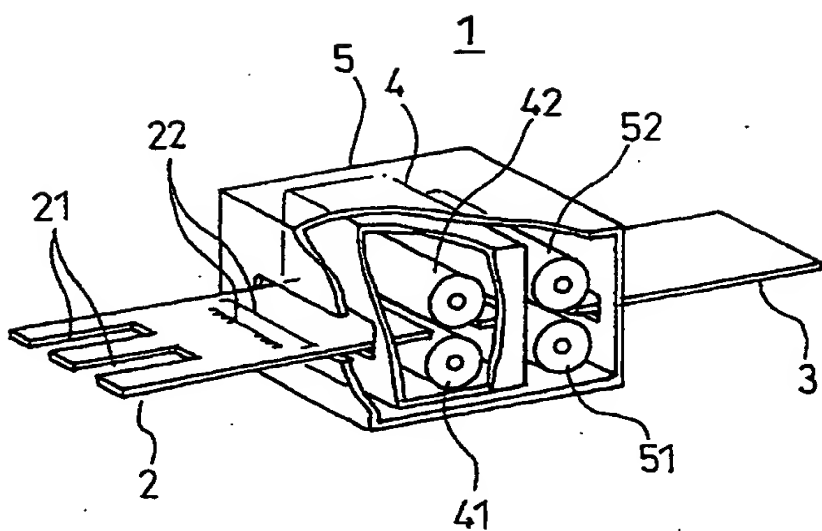
【図 1 0】



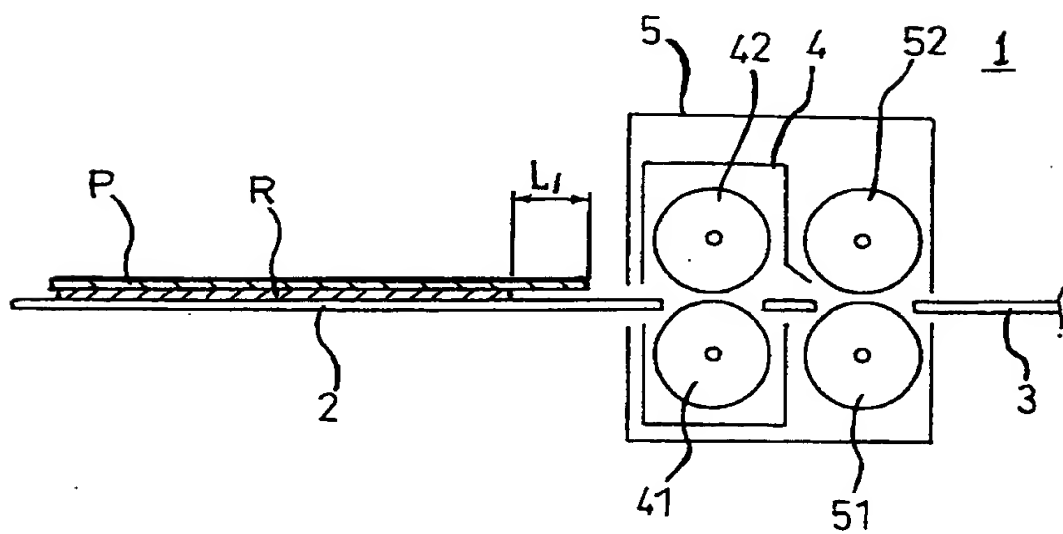
【図 1 1】



【図12】



【図13】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 小さい受像シートとこの上に置かれるこれに対して大きな本紙との位置合わせが簡単にかつ正確にできるようにし、これにより画像ズレのない、凸凹状のしわの発生しない画像転写を速く簡単に行えるようにする。

【解決手段】 画像が形成された受像シートと転写されるべき本紙とを重ね合わせて画像転写機内の加熱・加圧するヒートローラ対へ送り込むための挿入台 3' を、下方からの光を透過する機能を備える部材 2 G で一部構成した。そしてその光透過機能部材とは透明部・半透明部・光拡散部・開口部のいずれかであり、またその下方に光源 2 L を配置した。

【選択図】 図 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社